株主のみなさまへ

2019年12月期 期末報告書
（2019年1月1日～2019年12月31日）

Paint it RED!
未来を塗りかえろ。

Mission
すべての人にハッピーな
ひとときをお届けし、価値を創造します

Vision
- すべてのお客さまから選ばれるパートナーであり続けます
- 持続可能な成長により、市場で勝ちます
- 常に学びながら成長します
- コカ･コーラに誇りを持ち、誰もが働きたいと思う職場をつくります

Values
- 学ぶ向上心を忘れません
- 変化を恐れず機敏に行動します
- 結果を見据え最後までやりきります
- 誠実と信頼に基づいた気高い志で行動します

P1　トップメッセージ
P3　トピックス
P4　営業活動の状況
P7　CSVの取り組み
P9　連結決算ハイライト
P10　連結財務諸表
P11　会社概要･取締役
P12　株主メモ･株式の状況
P13　株式に関するお知らせ
P14　株主優待サービスの内容

証券コード：2579

コカ･コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

Paint it RED!
未来を塗りかえろ。

新たなミッションを掲げ、
中期計画の初年度をスタート

代表取締役社長
カリン・ドラガン

2019年の総括

2019年の国内清涼飲料市場は、7月の長雨や低温の影響もあり、前期比微減で推移したものと見込まれます。当社は2019年を、前年の被災による製品供給制約からの復旧と将来の成長基盤再構築に注力する転換の年と位置づけ、供給体制の復旧と製造能力の段階的な拡張に向けた投資を進めてまいりました。

京都工場および熊本工場で計3つの製造ラインが新たに稼働を開始するなど製造能力を強化するとともに、4月に大型PETボトル製品等の納価改定を実施し、収益基盤の確立にも努めてまいりました。また、8月には、2020年から2024年までの5年間の中期計画を発表いたしました。ザ コカ・コーラカンパニーおよび日本コカ・コーラ社の経営陣と緊密に連携して策定したこの中期計画は、2024年の事業利益率およびROEの目標をそれぞれ5～6%としており、「これまでのやり方は選択肢にない」という考えのもと、抜本的な変革を行うことにより、業界最高水準のイノベーションとオペレーションの実現を目指してまいります。

2019年の業績につきましては、最盛期の長雨や低温の影響等による飲料事業の販売数量の減少、製品供給体制の復旧を進める中での製造・物流関連費用増の継続、のれんの減損損失の計上等の影響を受けましたが、事業利益は、徹底したコスト削減等により、主力の飲料事業で5月に発表した修正予想値を上回り、連結では概ね計画どおりの着地となりました。中期計画の初年度である2020年のスタートに向けた基盤を築くことができたと考えております。

「Paint it RED！未来を塗りかえろ。」

中期計画に基づき、ミッション・ビジョン・バリューを刷新いたしました。「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」ことを掲げ、ミッション・ビジョン・バリューの総称を「Paint it RED!未来を塗りかえろ。」といたしました。当社のコーポレートカラーであり、情熱を表す色「赤（RED）」をもって、

価値創造を実現する強い意志を表しています。

このミッション・ビジョン・バリューは、組織健康度調査の結果や社員とトップマネジメントのコミュニケーションからの気づきを反映しており、当社がお客さま、株主さまをはじめとするあらゆるステークホルダーのみなさまに選んでいただけるパートナーであり続けることを謳っています。また、このあるべき姿の実現に向け、持続可能な成長を果たしていくこと、社員と会社がしっかりと学んでいくこと、誠実さと信頼を大切にすることなどを盛り込んでいます。

2020年の見通し

2020年は、2019年の冷夏による需要減の反動増が見込まれるものの、大型PETボトル製品等の納価改定による影響が一部残ると見込まれることなどから、国内の清涼飲料市場は、2019年並みとなることが見込まれます。

このような状況の中、当社は中期計画の「これまでのやり方は選択肢にない」という考えのもと、当社にとって重要なベンディングチャネルの変革や間接部門のコスト構造の見直し、顧客志向の事業活動や社員の能力開発への投資など、成長軌道への回帰に向けたビジネスの抜本的変革に取り組んでまいります。

主力の飲料事業におきましては、厳選された重点新製品への集中投資と主力製品の強化により売上成長を目指してまいります。また、市場実行力の向上やカスタマーとの関係強化により、高水準のカスタマーマネジメントの実現と販売機会の拡大を図ってまいります。ベンディングチャネルにおいては、2019年に近畿エリアで開始したオペレーションプロセス再構築の取り組みを他エリアに拡大するとともに、高収益なロケーションへの自動販売機の設置を強化し、持続可能な成長実現を目指してまいります。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のワールドワイドパートナーであるザ コカ・コーラカンパニーとともに、コカ・コーラシステムならではの資産を活用した積極的なマーケティングキャンペーンを展開し、市場の活性化を図ってまいります。2019年10月に当社全エリアでの販売を開始したアルコール飲料「檸檬堂」の展開を含め、未参入領域における取り組みにも注力してまいります。

製造面では、広島工場の立ち上げを含め新たな製造設備4ラインの稼働等を予定しております。また、物流面では、営業拠点の最適配置や自動倉庫・埼玉メガDC等物流施設の建設等を引き続き進めてまいります。さらに、間接部門におけるコスト削減の取り組みとして、定型業務を集約し標準化したプロセスで処理することにより、バックオフィス業務の効率化を図ってまいります。加えて、新たなミッション・ビジョン・バリューに基づく人財戦略の実行、廃棄物ゼロ社会を目指す「容器の2030年ビジョン」等、社会との共創価値に基づくＥＳＧ目標の実現に向けた活動にも取り組んでまいります。

2020年の業績につきましては、これらの取り組みにより、売上収益は9,272億円（2019年比124億円増）、事業利益は180億円（同比30億円増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は90億円（同比670億円増）を見込んでおります。

株主還元および配当方針

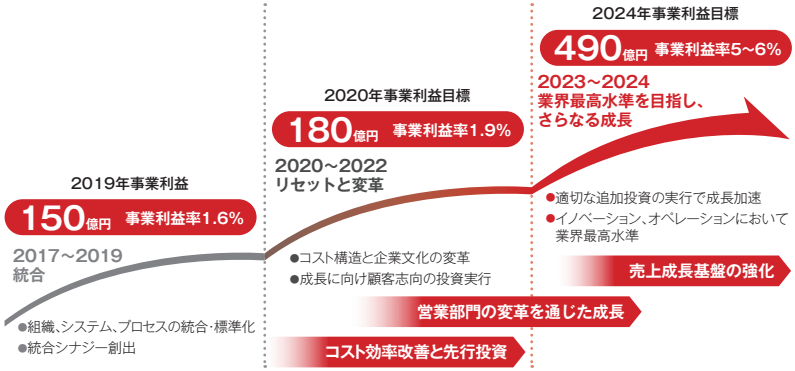
配当につきましては、変革の期間中の利益水準を考慮すると、現行の配当額を維持した場合、当社が目安としている配当性向30%を上回る計算となりますが、この期間は安定的に配当を行うことを最優先とし、剰余金の配当を行ってまいります。この方針に従い、2019年の年間配当金は2018年と同額の1株当たり50円としており、2020年についても、1株当たり50円の配当を予定しております。

当社は、今後も、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申しあげます。

2020年～2024年 中期計画

2019年8月に、2020年から2024年までの中期計画を発表しました。2024年の事業利益率※1およびROEの目標を5～6%としており、「これまでのやり方は選択肢にない」という考えのもと、抜本的な変革を行うことにより、業界最高水準のイノベーションとオペレーションの実現を目指していきます。



※1 事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

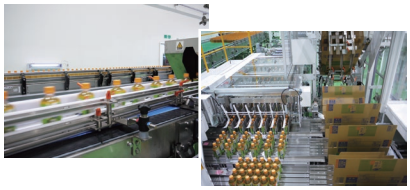
●2024年の主要指標・目指す姿

主要指標	2024年目標 （増加目標は2019年比）
売上収益	売上収益：年率+0.5～1% 販売数量：年率+1～1.5%
事業利益率	5～6%
EPS （基本的1株当たり当期利益）	標準化EPS※2：3倍以上
ROE （親会社所有者帰属持分当期利益率）	5～6%
株主還元	中期的には安定配当に注力 長期的には配当性向30%以上

※2 事業利益に含まれない一時的な影響を除いたEPSのこと。

供給体制強化に向けて

当社は急速に変化する市場環境や多様化するお客さま・お得意さまのニーズに迅速に対応すべく、製造能力の拡張と物流体制の最適化に取り組んでいます。製造面では、需要が高まっているアセプティック（無菌充填）製品の製造ラインが、2019年下期以降、新たに京都工場と白州工場で稼働しました。また、物流面では、白州工場と熊本工場の新倉庫が稼働開始しました。



京都工場新製造ライン（2019年10月～）

白州工場新倉庫（2019年11月～）

熊本工場新倉庫（2020年1月～）

1,500億円の社債を発行

2019年9月に総額1,500億円の普通社債を発行しました。当社は、中期計画において、持続的成長に向けた基盤構築のための投資を予定しており、調達した資金はそのための戦略的設備投資資金や発行済社債の償還資金等へ充当していきます。なお、当社の格付は、日本格付研究所（JCR）長期発行体格付：AA-（2020年1月15日付リリース）、格付投資情報センター（R&I）発行体格付：A+（2020年2月28日付リリース）であり、財務体質に対し高い評価を得ているものと考えています。

飲料事業

当社は、スーパーマーケット、ドラッグストア・量販店、コンビニエンスストア、ベンディング（自動販売機）、売店・飲食店等で飲料を販売しています。

コカ・コーラの自動販売機をもっと愛される存在に。「笑顔を、ここから。」キャンペーンを開始。

当社の収益の柱のひとつであるベンディングチャネルでは、お客さまに自動販売機で製品を購入いただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、2019年10月より「笑顔を、ここから。」をテーマとした自動販売機キャンペーンを開始しました。本キャンペーンでは、コカ・コーラ自動販売機の周辺で起こる人生の“ちょっとした楽しい瞬間”をCMや各種プロモーションで表現しています。今後も、当社エリア内にある約70万台の自動販売機を通じて、豊富な品揃えや、利便性の高いキャッシュレス、スマホアプリ「Coke ON」でのキャンペーン等、当社の自動販売機ならではの価値を提供していきます。

東京2020オリンピック開催の年 限定デザインボトルを発売

「コカ・コーラ」東京2020オリンピックデザインボトル

- 東京2020オリンピック デザインボトル3種期間限定発売
- 50種類の“東京2020オリンピック 競技デザインボトル”でアスリートを応援
- 日本初! “東京2020オリンピック オリジナルリストバンドボトル”9デザイン

綾鷹 和柄デザインボトル

- 東京2020オリンピック・パラリンピック公式緑茶
- “勝利”、“吉兆”など縁起の良い意味が込められたパッケージデザイン
- 全ての国内産茶葉を持続可能な供給源から調達

ジョージア 東京2020オリンピックマーク入りデザイン缶

- TOKYO2020も、誰かの仕事でできている。
- 「ジョージア 東京2020オリンピックマーク入りデザイン缶」を全国で発売
- 「ジョージア」のコーヒータイムを通じて、日々ひたむきに働くすべての人たちを応援

チーム コカ・コーラ 東京2020オリンピック観戦チケットキャンペーン

東京2020オリンピック観戦ペアチケットが1,010組2,020名様に当たるキャンペーンを実施しました!

2019年 下期の主な新製品

コカ・コーラ エナジー

- ✔「コカ・コーラ」ブランドから初のエナジードリンク
- ✔エナジードリンクならではの刺激的な味わい
- ✔カフェイン、ガラナエキス、ビタミンB6、ナイアシンを配合

リアルゴールド ドラゴンブースト

- ✔内側からのパワーと持続力のブーストをサポート
- ✔ミックスベリーフレーバーをベースにしたこだわりの味わい
- ✔定番のエナジードリンク成分に厳選した6種の東洋素材を配合

こだわりレモンサワー「檸檬堂」全国発売開始

- ✔酒場のおいしさに学んだこだわりレモンサワー「檸檬堂」を、4つの味で全国発売
- ✔丸ごとすりおろしたレモン果汁とお酒をあらかじめ馴染ませた「前割りレモン製法」を採用
- ✔酒場で人気の味を、アルコール度数や果汁率の異なる4種類のレモンサワーとしてラインナップ

2020年 この春注目の新製品！

ファンタ プレミアグレープ

3月2日発売

- ✔収穫から24時間以内に搾汁したぶどうの果汁と本格"すりつぶしピューレ※"を使用
- ✔果汁13%というリッチでコク深い味わいが特徴
- ✔新技術を導入した製造ラインにより、高果汁ながらも強い炭酸の刺激をお届け

※果実や野菜などを破砕して裏ごししたもの。

綾鷹 濃い緑茶

3月9日発売

- ✔急須でじっくりいれたような、綾鷹ならではの旨みのある"濃い"味わい
- ✔従来よりも多くの茶葉を使い、高温で抽出することにより、抹茶由来の「にごり」が楽しめる
- ✔「綾鷹」は、450年の歴史をもつ宇治の老舗茶舗「上林春松本店」の協力を得て開発

ジョージア ラテニスタ『カフェラテ』&『ビターラテ』

3月30日発売

- ✔ラテの美味しさをシンプルに伝える洗練されたデザイン
- ✔気分や好みで選べる2種類の味
- ✔自由な飲み方・シーンにフィットする、手のひらサイズのボトル

ヘルスケア・スキンケア事業

ヘルスケア・スキンケア事業は、当社の100%子会社であるキューサイ（株）を中心に行っており、主に通信販売で、健康食品および化粧品を販売しています。

主要チャネルの概況

売上収益の約9割を占める通信販売チャネルでは、テレビ通販番組や公式ショッピングサイトの集客力向上に取り組みました。また、販売チャネルの拡大に向け、チャネル専用製品を発売するとともに、ホテルやレストランなどの外食産業、スーパーやドラッグストアなどの小売店への販売にも取り組んでいます。

テレビ通販番組

公式ショッピングサイト

外食産業向けの
青汁サーバー

主な新製品

TOPICS　創業55年を機にロゴとコーポレートスローガンを刷新！

キューサイは、2019年10月にロゴとコーポレートスローガンを刷新しました。これにより、「青汁だけの会社」から、「お客さまのしなやかな生き方をかなえ、支え続ける会社」へとイメージの転換を図ります。

また、これにあわせて、新スキンケアブランド「Skinkalede」の発売、主力製品の製品名とパッケージのリニューアル、ウェブサイトのデザイン刷新を実施しました。今後も、より多くのお客さまへ新たな価値をお届けしてまいります。

生きるを、しなやかに。
Q'SAI

新ロゴ
新コーポレートスローガン

THE KALE（ケール青汁）シリーズ
新パッケージ

社会との共創価値（CSV）の取り組み

当社は、共創価値（CSV）を経営の根幹としており、中期計画の重要な要素のひとつとして、CSVの実現に向けたESG（環境・社会・ガバナンス）関連の取り組みやコミットメントを盛り込んだ「CSVゴール」を策定しました。ここで掲げる目標は、日本コカ・コーラ社の環境目標「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」における強いコミットメントとも合致しています。当社は、CSVの実現に向けた取り組みを加速させるとともに、コカ・コーラシステムの一員として、「World Without Waste」の実現を目指します。

■容器の2030年ビジョン ロードマップ

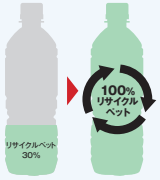
	設計 DESIGN		回収 COLLECT	パートナー PARTNER
	ボトルtoボトル（※1）／サスティナブル素材	PET樹脂の使用量	回収	さまざまな取り組み
2019年（現在）	B to B 約17% 「ボトルtoボトル」の割合（2018年実績）		容器を適切に回収	完全循環型PETボトルリサイクルを実現 「一（はじめ）緑茶 一日一本」
2022年までに	B to B 50%以上 「ボトルtoボトル」の割合			
2025年までに	すべての製品のPETボトルに、リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂を使用			
2030年までに	B to B 90% 「ボトルtoボトル」の割合 100% すべてのPETボトルを、リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂に切り替え 新規化石燃料ゼロへ	35%削減 製品1本あたりのPET樹脂（※2）の使用量（2004年比）	販売した量 回収した量 国内で販売した自社製品と同等量のPETボトルを回収	さまざまなパートナーと連携し、より着実な容器回収・リサイクルスキームを構築・維持

※1 PETボトルを回収し、PETボトルとして再生すること。 ※2 キャップ、ネックリングなど含む。

TOPICS 100%リサイクルペットボトル※「い・ろ・は・す 天然水」を発売

ナチュラルミネラルウォーターブランド「い・ろ・は・す」より、100%リサイクルペット素材を用いた「い・ろ・は・す 天然水100%リサイクルペットボトル」を、2020年3月から発売しています。「い・ろ・は・す 天然水」では、これまで、ボトルの30%にリサイクルペット素材を使用していました。従来のリサイクルペット素材のボトルより透明度を高めるという難易度の高い技術を実現したこと、パートナー企業の協力によって、ボトルの量産が可能になったことにより100%リサイクルペットボトルの導入が実現しました。

※100%リサイクルペット素材のボトル



「廃棄物ゼロ社会」の実現に向け、全国9か所で同時に清掃活動を実施

「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」の実現に向けた活動のひとつとして、2019年11月18日、千葉県釣ヶ崎海岸など全国9か所にて一斉に清掃活動を実施しました。コカ・コーラシステム約750名の社員が参加し、ごみの収集、分別を実施しました。この他にも、当社は地域に密着した環境美化活動等を積極的に行っています。

「障害者雇用エクセレントカンパニー賞」産業労働局長賞を受賞

当社は、多様な社員がさまざまな意見や価値観を受容し、イノベーションを創出し続けることを目指し、ダイバーシティ&インクルージョンの推進活動に取り組んでいます。そのような中、当社は、2019年10月に「障害者雇用エクセレントカンパニー賞」産業労働局長賞を受賞しました。

11月には、日本体育大学と、在学するパラアスリート選手およびデフアスリート選手や障がい者の活動を支援し活躍を推進するための協定を締結しました。また、当社のグループ会社が障がい者の雇用機会の確保を行う企業として、「特例子会社」として認定されました。今後も、障がい者の活躍を推進するとともに、積極的な雇用の創出に力を注ぎます。

「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選出

当社のダイバーシティ&インクルージョン推進への取り組みが評価され、2020年3月に「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定されました。これは、経済産業省が、ダイバーシティ経営に取り組む企業のすそ野拡大を目的に、多様な人材の能力を活かし、価値創造につなげている企業を表彰するものです。

また、当社は特に女性活躍推進に力を入れており、女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし認定」や、子育てサポート企業として2011年に「次世代育成支援企業」認定マーク“くるみん”等を取得しております。

社員の健康に関する取り組みが評価され、「健康経営優良法人2020（ホワイト500）」に認定

当社は社員の健康保持・増進を目的に、「Sawayakaチャレンジ」と題した「運動プログラム」や「就業時の全面禁煙」などさまざまな施策に取り組み、社員一人ひとりが常に健康第一で企業活動を行うことを推進しています。当社はこれからも「健康宣言」にならい、健康でいきいきと働くことができる職場を実現するために、働く環境の整備と、楽しい職場の創出を積極的に進め、働き方改革に取り組んでまいります。

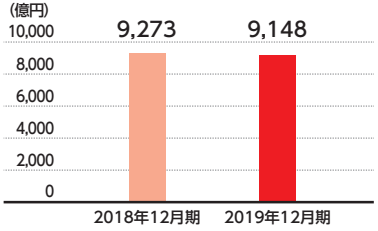
ESG投資の代表的指標「DJSI Asia Pacific」構成銘柄に2年連続で選定

当社は、世界のESG（環境・社会・ガバナンス）投資の代表的指標である「Dow Jones Sustainability Indices（DJSI）」のアジア・太平洋地域版である「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に2年連続で選定されました。

DJSIは、アメリカのS&P Dow Jones Indices社、およびスイスの投資顧問会社RobecoSAM社が共同開発した株式指標で、世界の大手企業3,500社以上を対象に、経済・環境・社会の側面で調査を実施し、持続可能性に優れた企業を選定しています。

売上収益

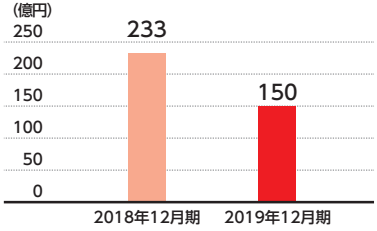
9,148億円



4月に実施した大型PETボトル製品の納価改定の効果やアルコール飲料「檸檬堂」の貢献があったものの、販売数量減少により、売上収益は前期比で125億円減少し、9,148億円となりました。

事業利益※

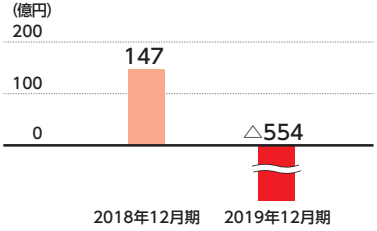
150億円



希望退職プログラム実施や退職給付制度統合に伴う人件費の減少、徹底したコスト削減の取り組みの効果等があったものの、売上収益の減少に加え、製造効率低下や物流費の増加、ヘルスケア・スキンケア事業の利益減少等により、事業利益は前期比で82億円減少し、150億円となりました。

営業利益

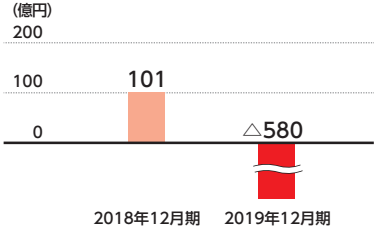
△554億円



事業利益の減少に加え、第2四半期に計上したのれんの減損損失や希望退職プログラム実施に伴う特別退職加算金の計上等により、営業利益は前期比で701億円減少し、554億円の損失となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

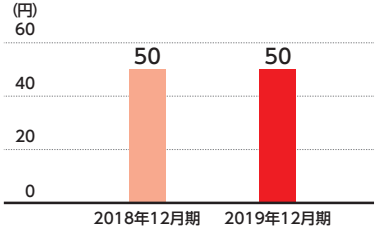
△580億円



営業利益の減少に伴い、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比で681億円減少し、580億円の損失となりました。

1株当たり配当金

50円



2019年の期末配当金を1株当たり25円とし、年間配当金は前期と同額の50円としています。2020年についても、1株当たり50円の配当を維持する見込みです。

セグメント情報

〈売上収益〉

■飲料事業
8,900億円（97.3%）

■ヘルスケア・スキンケア事業
248億円（2.7%）

〈事業利益〉

■飲料事業
114億円（76.1%）

■ヘルスケア・スキンケア事業
36億円（23.9%）

※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

連結財政状態計算書

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 2018年12月31日現在	当連結会計年度 2019年12月31日現在
資産		
流動資産	238,078	304,812
非流動資産	639,394	647,632
資産合計	877,472	952,444
負債及び資本		
負債		
流動負債	177,524	168,186
非流動負債	119,042	277,767
負債合計	296,566	445,953
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	450,533	450,526
利益剰余金	182,418	121,372
自己株式	△72,651	△85,649
その他の包括利益累計額	4,915	4,517
親会社の所有者に帰属する持分合計	580,448	505,999
非支配持分	458	492
資本合計	580,906	506,491
負債及び資本合計	877,472	952,444

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 2018年１月１日から 2018年12月31日まで	当連結会計年度 2019年１月１日から 2019年12月31日まで
売上収益	927,307	914,783
売上原価	475,156	473,723
売上総利益	452,151	441,060
販売費及び一般管理費	426,195	423,685
のれんの減損損失	—	61.859
その他の収益	2,116	4,127
その他の費用	13,385	15,076
持分法による投資利益（△は損失）	△5	43
営業利益（△は損失）	14,682	△55,389
金融収益	830	1,145
金融費用	745	1,175
税引前利益（△は損失）	14,767	△55,419
法人所得税費用	4,605	2,476
当期利益（△は損失）	10,162	△57,895
当期利益（△は損失）の帰属：		
親会社の所有者	10,117	△57,952
非支配持分	45	56
基本的1株当たり当期利益（△は損失）（円）	52.68	△322.22

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前連結会計年度 2018年１月１日から 2018年12月31日まで	当連結会計年度 2019年１月１日から 2019年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,244	42,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,628	△68,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,835	73,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△53,231	48,315
現金及び現金同等物の期首残高	118,742	65,510
現金及び現金同等物の期末残高	65,510	113,825

会社概要

（2019年12月31日現在）

■商　　号　コカ･コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
Coca-Cola Bottlers Japan Holdings Inc.

■本社所在地　東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン･タワー

■設　　立　1960年12月20日

■資 本 金　152億3千2百万円

■連結従業員数　16,959名

■証券コード　2579

■発行可能株式総数　500,000千株

■発行済株式総数　206,269千株

■株 主 数　69,533名

■1単元の株式数　100株

■上場取引所　株式会社東京証券取引所（市場第一部）
証券会員制法人 福岡証券取引所

取締役

（2020年3月26日現在）

代表取締役社長
カリン・ドラガン

代表取締役副社長 兼
最高財務責任者（財務本部長）
ビヨン・ウルゲネス

社外取締役　独立役員
吉岡 浩

社外取締役　独立役員
和田 浩子

社外取締役　独立役員
谷村 広和

社外取締役（監査等委員）
イリアル・フィナン

社外取締役（監査等委員）　独立役員
行徳 セルソ

社外取締役（監査等委員）　独立役員
濱田 奈巳

社外取締役（監査等委員）
エンリケ・ラペッティ

ご案内

工場見学

コカ･コーラ社製品の製造工程を見学いただける工場見学を開催しています。開催状況や日時等の詳細については、当社ホームページをご覧ください。

工場見学の開催工場

❶蔵王工場
（宮城県刈田郡蔵王町）
TEL：0224-32-3505

❷多摩工場
（東京都東久留米市）
TEL：042-471-0463

❸東海工場
（愛知県東海市）
TEL：052-602-0413

❹京都工場
（京都府久世郡久御山町）
TEL：0774-43-5522

❺えびの工場
（宮崎県えびの市）
TEL：0984-25-4211

コカ･コーラ ボトラーズジャパン 工場見学　検索

ホームページ

IRイベントスケジュールや財務情報など、豊富なIR情報を掲載しています。また、ご登録いただいた方へ、決算発表やニュースリリースなどをタイムリーにお知らせしています。

なお、当ホームページから主要なIR情報が入手いただけることなどから、2020年12月期より「株主のみなさまへ」の発行を年1回とさせていただきます。

今後もホームページを活用したIR活動に注力してまいります。

https://www.ccbj-holdings.com/ir/

株主メモ

（2019年12月31日現在）

■事業年度　毎年1月1日から12月31日まで

■定時株主総会　毎年3月開催

■基準日
・定時株主総会：毎年12月31日
・期末配当金：毎年12月31日
・中間配当金：毎年6月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

■株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

■郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

■電話照会先
TEL 0120-782-031

■ホームページURL
https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

■公告の方法
電子公告により、当社ホームページ（https://www.ccbj-holdings.com/corporate/public_notice/）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

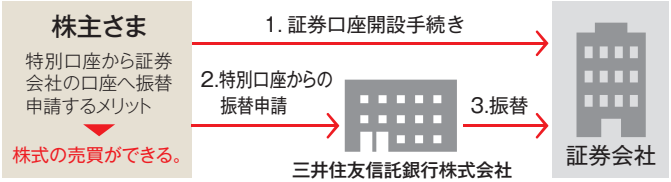
【特別口座について】

特別口座とは、2009年1月の株券電子化の際に、株券を証券会社に預託されなかった株主さまならびに単元未満登録株式をお持ちの株主さまの権利を保全するために、当社が特別に開設した口座のことをいいます。当社は「三井住友信託銀行株式会社」に特別口座を開設しております。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きについて

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません（単元未満株式を除く）ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替えるお手続き（振替申請）をお勧めします。

特別口座から証券会社の口座への振替申請のお手続きの流れ



お手続きに関するお問い合わせについて

お手続き内容	お問い合わせ先
特別口座から証券口座への振替申請	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 （平日9:00～17:00）

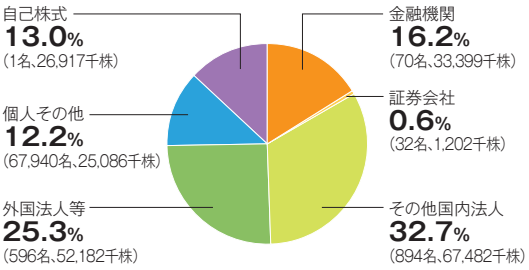
現在株券をお持ちの株主さまや、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主さまは、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

株式の状況

（2019年12月31日現在）

■所有者別株式数の状況

《株式数の構成比》



■大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本コカ・コーラ株式会社	27,956	15.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,460	4.2
公益財団法人市村清新技術財団	5,295	3.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	4,725	2.6
薩摩酒造株式会社	4,699	2.6
株式会社千秋社	4,088	2.3
コカ・コーラ　ホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,075	2.3
三菱重工機械システム株式会社	3,912	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,747	2.1
株式会社MCAホールディングス	3,408	1.9

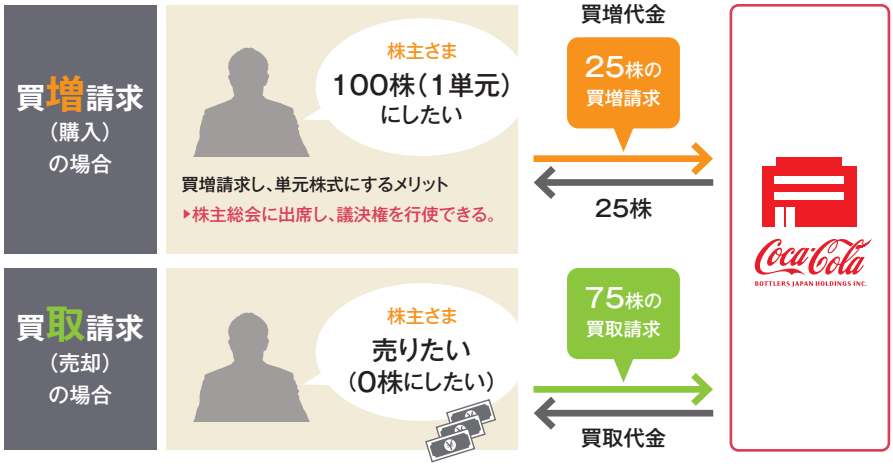
（注1）当社保有の自己株式26,917千株につきましては、上記の表および持株比率の計算より除いております。
（注2）ザ コカ・コーラ カンパニーが日本コカ・コーラ株式会社およびコカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク等子会社を通じて18.8%を保有しています。

1 単元未満株式の買増・買取請求のお手続きについて

当社株式は1単元100株であり、単元未満株式(1~99株)については市場で売買いただくことができません。そのため、株主さまにおかれましては、当社に対して100株(1単元)となるよう**買増請求**(購入)または単元未満株式を**買取請求**(売却)いただけます。

お手続きの方法等のお問い合わせは、「2.株式に関するお手続きについて」のお問い合わせ先にお申し出ください。

例 株主さまが75株を所有している場合



2 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きについては、以下の表をご参照のうえ、該当の窓口にお問い合わせください。

❶証券会社に口座をお持ちの株主さまと、❷特別口座の株主さま(証券会社に口座をお持ちでない株主さま)で、お問い合わせ先が異なる場合がありますのでご注意ください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先			
	❶ 証券会社に口座をお持ちの株主さま		❷ 特別口座の株主さま (証券会社に口座をお持ちでない株主さま)	
● 単元未満株式の買増・買取のご請求 ● 届出住所のご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更	株主さまの口座のある証券会社		特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (平日9:00~17:00)
● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 郵送物(配当金関係書類等)の発送に関するご照会 ● 株式に関するその他のお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (平日9:00~17:00)	株主名簿管理人	

株主優待サービスの内容

●対象となる株主さま

2019年12月31日現在※1において、当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、1単元（100株）以上を保有する株主さま

●株主優待製品

「保有株式数」と「保有期間」に応じて、コカ・コーラ社製品を贈呈します。

［コカ・コーラ社製品の詰合せ］

保有株式数 ＼ 保有期間	3年未満	3年以上※2
1,000株以上	3,000円相当	4,500円相当
100～999株	1,000円相当	1,500円相当

【株主優待製品例】

コカ・コーラ社製品詰合せ（1,000円相当）

コカ・コーラ社製品詰合せ（1,500円相当）

※1 2019年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、100株以上保有する株主さまに対して、2020年3月～4月に予定している株主優待製品の贈呈をもちまして、株主優待制度を廃止いたします。

※2 保有期間3年以上の株主さまとは、3年以上継続して当社株式を1単元（100株）以上保有する株主さまのことで、2019年12月31日現在において、当社株主名簿に、同一の株主番号で3年以上継続して1単元（100株）以上記載または記録されている株主さま（同一の株主番号で3月31日現在、6月30日現在、9月30日現在および12月31日現在の株主名簿に継続して、13回以上記載または記録されている株主さま）となります。
ただし、婚姻および転居に伴う株主名簿の記載内容の変更により、株主番号が変更されてしまった場合に限り、株主さまからの申請により保有期間3年以上の株主さまと判断する場合もあります。
なお、旧コカ・コーライーストジャパン株式会社の株主さまにおかれましては、同社において、6月30日現在および12月31日現在の年2回のみ同社株主名簿の記載または記録の確認を行ってきており、3月31日現在および9月30日現在の株主名簿への記載または記録を確認することはできませんが、2017年3月31日までの期間については、特例として、この年2回の株主名簿において、1単元（100株）以上記載または記録を確認することで保有期間3年以上の株主さまとしての適用の可否について判断させていただくことといたします。ただし、2017年4月以降は、四半期ごとの株主名簿に記載または記録があることを保有期間3年以上の株主さまの適用条件といたします。

●贈呈時期

2020年3月下旬より順次贈呈

株主優待制度変更および廃止のご案内

2019年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、100株以上を保有する株主さまに対して、2020年3月～4月に贈呈を予定している株主優待制度を変更するとともに、その株主優待製品の贈呈をもちまして株主優待制度を廃止いたします。

株主優待制度の変更および廃止の理由

当社は、株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社へのご理解を深めていただくことおよびより多くの株主のみなさまに当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施してまいりました。

また、2019年8月に2024年までの新しい中期計画を発表し、収益性の改善と売上成長の実現に向けた抜本的な変革に取り組んでいます。現在の収益状況および将来にわたる株主のみなさまに対する公平な利益還元のあり方などの観点から、慎重に検討を重ねた結果、2019年12月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、100株以上を保有する株主さまに対して、2020年3月～4月に贈呈を予定している株主優待制度を変更するとともに、その株主優待製品の贈呈をもちまして株主優待制度を廃止することといたしました。

当社は、今後とも、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、中期計画で進めている抜本的な変革を通じて企業価値の向上に取り組み、安定的かつ継続的に配当を実施していくことができるよう努力してまいります。株主のみなさまには何卒ご理解賜りますようお願い申しあげます。

株主優待制度の廃止の時期

2020年3月～4月に予定している株主優待製品の贈呈をもちまして、株主優待制度を廃止いたします。

株主優待に関するお問い合わせ

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株主優待事務局

TEL:0120-99-5610

受付時間 10:00～17:00（土日祝日を除く）

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

〒107-6211 東京都港区赤坂九丁目7番1号　ミッドタウン・タワー

■ IRに関するお問い合わせ（決算発表、決算説明会 等）

IR部　TEL：03-5575-3797　https://www.ccbj-holdings.com/inquiry/

UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022784

VEGETABLE OIL INK

本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して植物油インクで印刷しています。